BESSHI 住友別子病院広報誌

SMILE

2026.11
Vol.220



特集：脊椎外科の新たな一歩



脊椎外科の新たな一歩
-最新の術中画像撮影装置「O-arm」導入-
～より安全で精度の高い脊椎手術を目指して～

脊椎外科長　山内　太郎

脊椎は、頭から骨盤までを支える身体の柱であり、その内部には手足の運動や感覚を司る重要な神経が通っています。加齢に伴う変化や骨折などによって脊椎や神経に異常が生じると、首や腰の痛み、手足のしびれ、歩行障害など、日常生活にさまざまな支障をきたします。

当院の脊椎外科では、年間約150例の脊椎手術を行っており、地域の皆さんの健康と生活の質を支える医療に取り組んでいます。特に多いのは、加齢に伴って神経の通り道が狭くなる「腰部脊柱管狭窄症」や「頚椎症性脊髄症」、背骨がずれる「腰椎すべり症」、骨が弱くなることで生じる「骨粗鬆症性椎体骨折」などです。高齢化が進むなか、歩行困難や強い痛みによって日常生活が制限される患者さんも増えています。

当院では、患者さん一人ひとりの年齢、症状、全身状態、生活環境を考慮し、身体への負担をできる限り抑えながら、機能の回復と早期の社会復帰を目指した治療を行っています。



◆最新の画像撮影装置「O-arm」とは？

このたび当院では、Medtronic社製の術中画像撮影装置「O-arm（オーアーム）」を導入します。O-armは、手術中に患者さんの身体を動かすことなく、背骨の状態をCTのような三次元画像で確認できる装置です。

従来の一般的なレントゲン透視では把握しにくかった複雑な骨の形状も、さまざまな方向から立体的に確認することができます。さらに、手術用ナビゲーションシステムと組み合わせることで、カーナビのように手術器具の位置や進む方向を画面上で確認しながら操作することが可能になります。

◆O-arm導入で広がる治療の可能性

脊椎手術では、背骨を安定させるために金属製のスクリュー（ねじ）を挿入することがあります。しかし、背骨の周囲には脊髄や神経、重要な血管が存在するため、正確な操作が求められます。

O-armを活用することで、スクリューを挿入する位置や角度をより詳細に把握でき、手術中に設置状態を確認することも可能になります。これにより、骨粗鬆症による複雑な脊椎骨折、脊椎の変形、頚椎の固定手術など、従来以上に精密な操作が必要となる手術への対応が期待されます。また、ナビゲーションを活用した小さな切開による固定術など、身体への負担を軽減する手術の選択肢も広がります。

もちろん、O-armを使用することで、すべての手術の危険性がなくなるわけではありません。画像撮影に伴う放射線被ばくにも配慮し、患者さんの状態や手術内容に応じて適切に使用することが重要です。

当院では、これまで培ってきた脊椎外科の経験と新たな医療技術を融合させ、より安全で精度の高い手術を目指してまいります。

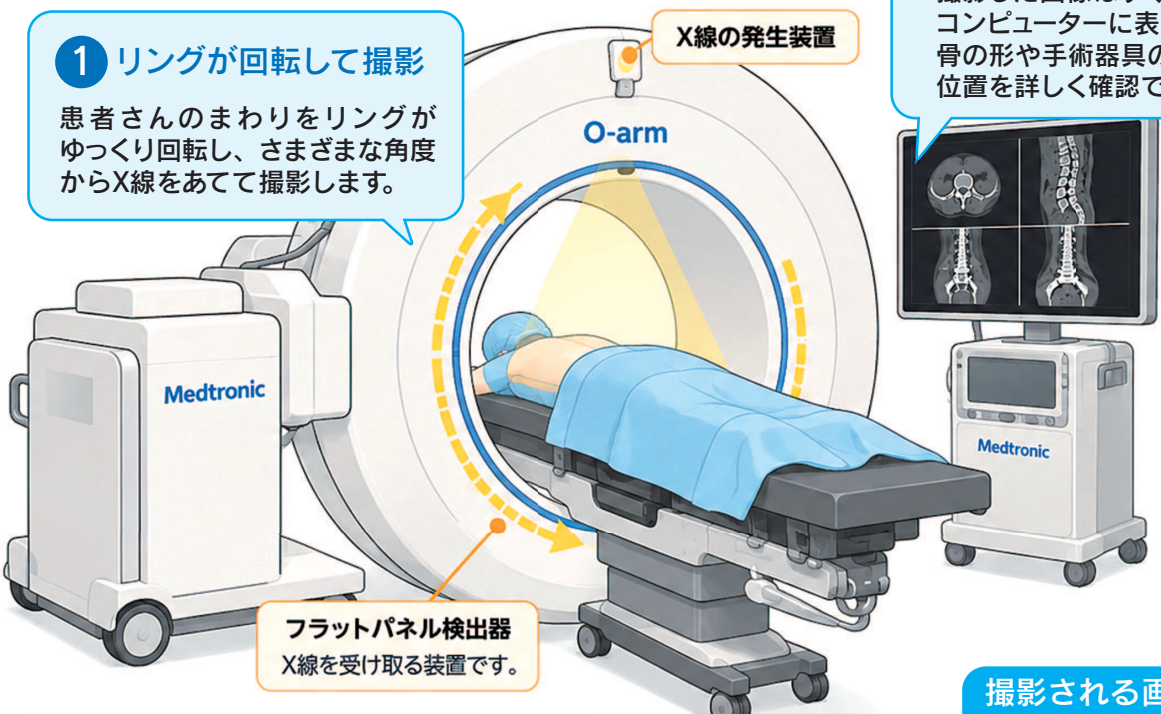
「痛みなく歩きたい」「もう一度、自分の足で生活したい」。そのような患者さんの願いに応えられるよう、これからも地域に根ざした脊椎医療の充実に努めてまいります。

O-arm（オーアーム）とは？

手術中に、CTのような詳しい画像を撮影できる医療機器です。

1 リングが回転して撮影

患者さんのまわりをリングがゆっくり回転し、さまざまな角度からX線をあてて撮影します。



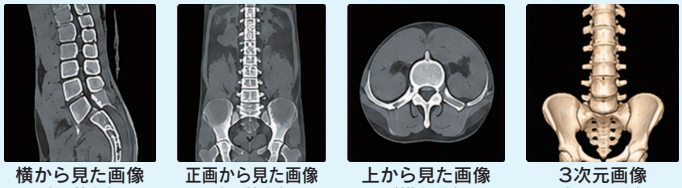
2 撮影した画像をすぐに確認

撮影した画像はすぐにコンピューターに表示され、骨の形や手術器具の位置を詳しく確認できます。

3 手術の安全性と精度の向上に役立ちます

手術中にその場でCTのような立体的な画像を確認できるため、より正確で安全な手術を行うことができます。

撮影される画像の例



インフルエンザに備えましょう
～家庭や職場でできる感染対策～

感染管理認定看護師　藤　井　克　匡

インフルエンザは冬に流行するイメージがありますが、今年の愛媛県では例年より早く流行が始まりました。

インフルエンザは身近な感染症ですが、高齢者や基礎疾患のある方、小さなお子さんなどでは重症化することもあります。自分が「かからない」ことと、周囲に「うつさない」ことを意識して、感染対策を行いましょう。

1．インフルエンザとは？

インフルエンザウイルスによる呼吸器の感染症です。主に、咳やくしゃみなどのしぶきを吸い込む飛沫感染と、ウイルスが付いた手で口や鼻に触れる接触感染によって広がります。

感染してから症状が出るまでの期間は、おおむね１～３日です。急な発熱、頭痛、筋肉痛・関節痛、強いだるさのほか、咳やのどの痛み、鼻水などがみられます。ただし、必ず高熱が出るとは限りません。特に高齢者では、食欲がない、元気がない、体に力が入らなくなった、といった変化が先に現れることもあります。

症状だけで新型コロナウイルス感染症などと区別することも困難です。

また、症状が出る前日から発症後３～７日間程度はウイルスを排出するとされています。熱が下がっても、すぐに周囲へうつす可能性がなくなるわけではありません。

2．家庭や職場でできること

手をきれいにする

外出後、食事の前、鼻をかんだ後などは、石けんと流水で手を洗いましょう。アルコールによる手指消毒も有効です。

咳エチケットを守る

咳やくしゃみが出るときはマスクを適切に着用しましょう。マスクがない場合は、ティッシュや腕の内側で口と鼻を覆います。

体調が悪いときは休む

発熱や咳、のどの痛み、強いだるさがあるときは、無理をして仕事や学校へ行かず、休養しましょう。体調不良時に無理をしないことが、周囲の人を守る対策にもなります。

家庭内でも広げない

家族が感染した場合は、可能であれば療養する場所を分け、換気や手洗いを心がけましょう。タオルの共有を避け、看病の後にも手をきれいにします。

ワクチン接種を検討する

ワクチンを接種しても必ず感染を防げるわけではありませんが、発症や重症化を防ぐ効果が期待できます。接種について迷う場合は、かかりつけ医に相談しましょう。

呼吸が苦しい、意識の状態がおかしい、水分がとれないなど、いつもと明らかに違う様子があれば、早めに医療機関へ相談してください。

一人ひとりの基本的な対策が、家族や職場の仲間、重症化しやすい人を守ることにつながります。

インフルエンザワクチン接種のご案内

次のとおり接種を開始いたします。

1．対象者および接種日
①当院かかりつけ患者　診察予約日（ただし、歯科口腔外科を除く）
②上記以外の方　毎週月曜日　9:00～9:30、13:30～14:30
毎週水曜日14:30～15:30

※原則要予約（予約枠が空いている場合は当日接種可能）

2．申込
1 受付へお越しください

3．期間および料金
①高齢者早期接種（新居浜市民のみ）
期間：2026年9月30日（水）まで
料金：1,500円（税込）
②高齢者（65歳以上）
期間：2027年1月29日（金）まで
料金：1,500円（税込）
③一般（中学校就学終了後～64歳以下）
期間：ワクチン在庫終了まで
料金：4,280円（税込）

4．その他
その他ワクチンとの同時接種が可能

早めの接種が大切です！



以上
2026年9月
住友別子病院

※ 新型コロナワクチン接種も行っています。ご希望の方は1受付にお申し出ください。

お仕事紹介　薬剤部 PART 4

肝炎医療コーディネータについて

薬剤部 松本 大輝



肝炎医療コーディネーターとは、肝炎患者さんなどが適切な肝炎医療や支援を受けられるように、医療機関、行政機関その他の地域や職域の関係者間の橋渡しを行い、B型肝炎やC型肝炎などの肝臓の病気について正しい知識をお伝えし、安心して検査や受診、治療を受けられるよう支援する医療スタッフのことを指します。肝炎ウイルス検査の受検や検査陽性者の早期の受診、肝炎患者などの継続的な受療の促進、行政機関や医療機関によるフォローアップが円滑に行われるようにすることを基本的な役割として、各都道府県で養成されています。

当院では現在、医師、薬剤師、看護師、検査技師、事務員など多職種が連携し、患者さん一人ひとりに寄り添った支援を心がけています。肝炎は初期には自覚症状がほとんどなく、気づかないうちに病気が進行してしまうことがあります。早期に発見し、適切な治療や定期的な経過観察を行うことで、肝硬変や肝がんへの進行を防ぐことができます。

C型肝炎では直接作用型抗ウイルス薬という飲み薬による治療が標準となっています。多くは8週から12週ほど内服し、ウイルスを排除することで高い治療効果が期待されています。B型肝炎も核酸アナログ製剤という飲み薬でウイルスの増殖を抑えることができます。長期に続ける必要はありますが、肝炎の進行や肝がんリスクを下げることができます。

当院では、BESSHI SMILEフェス（旧健康フェスタ）で肝炎の早期発見に向けた啓発活動を行い、来院された患者さんを対象に肝臓についての相談窓口を設けたり、市の保健所と連携して肝炎ウイルス陽性者の抽出を行うなど、早期発見により適切な受診や治療につなげる取り組みを行っています。





イベントでの相談の様子

検査を受けたことがない、検査を受けたけれど結果がわからない、肝炎について相談したいという方は、お気軽に当院スタッフにお声がけください。肝臓の健康を守るためには、まず検査を受けることが大切になります。

おしごと拝見 職場のわ No.73

在宅医療科



在宅医療科　伊　藤　　麻衣子

「“ここで暮らしたい”を支える」
ー病院と在宅をつなぐ、当院在宅医療科・訪問看護の取り組みー

日本では高齢化が進み、今後さらに在宅医療を必要とする方の増加が見込まれています。厚生労働省も、2040年頃に向けて在宅医療の需要が高まることを示しており、医療機関と地域の医療・介護サービスが連携しながら、住み慣れた地域で療養生活を支える体制づくりが求められています。

「病院から在宅へ」ではなく、「病院と在宅をつなぐ」

「できることなら、住み慣れた自宅で過ごしたい」。そんな患者さん・ご家族の思いに寄り添い、安心して在宅での療養生活を送ることができるよう、当院の在宅医療科・訪問看護では、病院と在宅をつなぐ取り組みを行っています。

訪問看護師はご自宅を訪問し、健康状態の確認や医療処置、服薬管理、療養生活への助言、ご家族の不安や悩みへの支援などを行います。

私たちが大切にしているのは、入院中から患者さん・ご家族の思いに寄り添い、退院後の暮らしを一緒に思い描きながら、安心して在宅生活を始められるよう支援することです。そのために、病棟看護師と訪問看護師が情報を共有し、退院後の生活に向けた準備を進めています。また、訪問看護師は、ご自宅での患者さんの様子や生活の変化を確認し、訪問看護を通して得られた「ご自宅での患者さんの姿」を病院へ伝えることも大切な役割としています。

病院から在宅へ一方向につなぐのではなく、病院と在宅を双方向につなぐ。これが、当院が大切にしている継続看護の考え方です。

多職種で支える、その人らしい暮らし

在宅療養を支えるためには、訪問看護師だけではなく、医師、認定看護師、ケアマネジャー、薬剤師、リハビリテーションスタッフ、ソーシャルワーカーなど、多くの専門職との連携が欠かせません。

訪問看護師は、患者さん・ご家族の身近な存在として、日々の体調の変化や生活上の困りごとを把握し、必要な専門職へつなぐ役割を担っています。

当院の在宅医療科の強みは、院内の各分野の認定看護師と連携できることです。例えば、ストーマケアや疼痛管理、化学療法に伴う症状など、専門的な知識や技術が必要な場合には、院内の認定看護師などと情報を共有し、専門的な助言を受けながら、在宅でのケアに生かしています。

また、ケアマネジャーとは、食事、排泄、服薬、介護負担など、生活全般について情報交換を行い、必要に応じて訪問介護や福祉用具、リハビリテーションなどのサービスにつなげています。

薬の管理や飲み忘れ、副作用などについては薬剤師と相談し、患者さんの生活に合わせた、安全で無理のない服薬方法を一緒に考えます。

さらに、退院後の生活に関する介護、経済面、家族の状況、社会資源などの課題については、ソーシャルワーカーと連携し、入院中から必要な支援を検討しています。

私たちが最も大切にしているのは、患者さん・ご家族の思いです。「これからも、ここで自分らしく暮らしたい」。その思いを実現するために、医療的な支援だけではなく、その人の生活や価値観を大切にしながら支援することを心がけています。



患者さん宅に訪問中の様子

訪問看護師は、患者さん・ご家族の生活のそばにいるからこそ気づける変化があります。その気づきを医師や多職種につなぎ、また、医療者からの情報や治療方針を患者さん・ご家族へわかりやすく伝える。訪問看護師は、病院と在宅、医療と暮らしをつなぐ「架け橋」です。

当院在宅医療科では、病棟・外来のスタッフ、医師、ソーシャルワーカー、薬剤師、そして地域との連携を大切にしながら、「退院したら終わり」ではなく、「退院してからも続く医療と看護」を目指しています。

これからも、患者さんとご家族が安心して住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けられるよう、病院と地域をつなぐ架け橋として、訪問看護の役割を果たしていきます。



糖尿病をよく知ろう

糖尿病センター

毎年、11月14日※1を含む一週間(月～日)※2をダイアベティスウィーク ※3として、全国各地で一般向けの講演会や健康相談、街頭での広報活動など実施します。各都道府県JADECや友の会が主体となり、地域単位でこれらの啓発活動を行います。

※1 世界糖尿病デー
※2 ただし、11月14日の曜日によって1週間を(日～土)にします。
※3 ダイアベティス＝糖尿病

第62回ダイアベティスウィーク(2026年)

日 程　11月9日㈪～ 15日㈰
テーマ　小さな一歩が未来を変える
　　ー肥満対策とダイアベティス予防ー

住友病院行事

あかつき会(糖尿病教育入院、血糖コントロール入院をした方の会)

11月18日㈬に講演会を予定しています。

お問合せ　(0897)37-7118　栄養管理科

参加費無料

\当日はお菓子まきやウェルマンと健康体操もあるよ/

2026
11/15
SUN
10:00～15:00



先着２００名様に防災グッズプレゼント

BESSHI SMILE フェス 2026

-今日からできる 健康×防災-

会場：住友別子病院（雨天決行）

ステージイベント

今日から君も防災ヒーロー！？
○×クイズ

災害時の避難所における感染対策

ROCK IN BESSHI
ロッキンベッシ

【SMILEマルシェ】

出店一覧はこちらから

イベント

けむりテント

ガタガタ体験！地震シュミレーション

モバイルファーマシー展示

新居浜スーパーヒーロー
ウェルマンも登場！？

避難所サバイバル
「ひなさば」体験

ふれあい看護体験
HPより事前申し込み要

協賛イベント

消防車・救急車展示

電気自動車の展示（マツダ車）
＋
緊急防災車中泊セット展示

ポータブル電源や防災グッズの展示

「肝臓」
チェックしてみませんか？

主催：住友別子病院　（0897）37-7133
地域連携室（直通）

後援：新居浜市・新居浜市医師会・愛媛新聞社・ハートネットワーク
協賛：アイリスオーヤマ、アルファー食品（株）愛媛東部ヤクルト販売
（株）西四国マツダ、住友生命相互会社、ハローワーク新居浜
ミサワホーム四国（株）、四国ろうきん

病院HP

進路相談会

企画・発行 / 医療法人住友別子病院
〒792-8543 愛媛県新居浜市王子町3番1号
TEL（0897）37-7111　URL https://sbh.gr.jp/

編集 / BESSHI SMILE編集委員会
住友別子病院広報誌に関するご意見・ご感想は
TEL（0897）37-7133　FAX（0897）37-7134 までお寄せください。